

## 4. 一般廃棄物処理施設の整備状況について

### 1 一般廃棄物処理施設の概要(地方公共団体)

#### (1) ごみ焼却施設

ごみ焼却施設数(平成30年度稼働中)は17施設であり、燃焼方式別に見ると、24時間燃焼方式(全連続運転)が13施設、間欠燃焼方式(バッチ運転、准連続運転)が4施設である。また、処理能力規模別に見ると、100t/日以上が8施設、50～100t/日が6施設、50t/日未満が3施設となっている。

#### (2) 粗大ごみ処理施設

粗大ごみ処理施設(平成30年度稼働中)は、処理方式別に見ると、破砕が4施設、併用(破砕及び圧縮)が3施設である。

#### (3) 資源化等の施設

資源化等の施設(平成30年度稼働中)は、圧縮・梱包等を行う施設が13施設あり、その他(飼料化・燃料化)を行う施設が3施設ある。

#### (4) 最終処分場

最終処分場(平成30年度稼働中)は20施設あり、残余容量が3,793千 $\text{m}^3$ となっている。

#### (5) し尿処理施設

し尿処理施設(平成30年度稼働中)は、9施設である。

#### (6) コミュニティプラント

コミュニティプラント(平成30年度稼働中)は1施設であり、接触ばっ気方式を採用している。

## 2 一般廃棄物処理施設整備状況概要一覧(平成30年度稼働中施設)

### 【焼却施設】

炉形式	施設数	処理方式	施設数	処理能力	施設数
全連続運転	13	ストーカ式	16	30t 未満	2
				30t 以上50t 未満	1
准連続運転	3	流動床式	1	50t 以上100t 未満	6
				100t 以上300t 未満	5
バッチ運転	1			300t 以上500t 未満	1
				500t 以上	2
合 計					17

### 【粗大ごみ処理施設】

処理方式	施設数
破碎	4
圧縮	0
併用	3
合 計	7

### 【資源化等の施設】

処理方式	施設数
圧縮・梱包等	13
ごみ飼料化	1
ごみ燃料化	2
合 計	16

### 【最終処分場】(稼働施設)

埋立場所	施設数	残余容量[m <sup>3</sup> ]
山間	19	3,726,023
平地	1	67,037
合 計	20	3,793,060

### 【し尿処理施設】

処理方式	施設数
好気性	3
標準脱窒	2
高負荷脱窒	1
膜分離	1
その他	2
合 計	9

注 複数の処理方式を持つ施設は「その他」としている。

### 【コミュニティ・プラント】

処理方式	施設数
接触ばっ気	1
長時間ばっ気	0
その他	0
合 計	1